

30年度「市民活動支援センター事業」の企画提案を募集します

市は、市民と行政などによる協働のまちづくりを推進するための市民活動支援センター事業を実施しており、平成30年度の業務委託における企画提案を募集します。募集要領などを確認の上、お問い合わせください。

- 応募資格 市内に主たる事務所を置く特定非営利活動法人で、特定非営利活動促進法別表中、第19号の活動が定款に定められていること
- 事業実施期間 4月1日から31年3月31日まで
※市が委託業務の執行状況が良好と認めた場合は、契約を3年間まで継続
- 事業実施場所 奥州市全域
※業務実施拠点は市民活動支援センター（メイプル地下）
- 募集要領などの配布・応募先 本庁地域づくり推進課市民活動係（江刺総合支所・内線321、〒023-1192 ※住所記載不要）
※募集要領などは市ホームページからもダウンロード可

市民提案型協働支援事業 実績報告会・制度説明会

29年度ステップアップコースに認定された16団体の実施事業の実績報告会を公開プレゼンテーションにて開催します。あわせて、30年度提案事業募集開始にあたり、制度内容、提案方法などの説明会を開催します。

- 日時 1月28日(日)午後1時～5時
- 場所 市民活動支援センター会議室

29年度市協働のまちづくり フォーラム

先進的な地域づくり活動の経験交流の場を設け、成果の共有と新たな事業展開への契機とするためのフォーラムを開催します。

- 日時 2月4日(日)午後1時30分～4時
- 場所 江刺体育文化会館ささらホール
- 内容 基調講演「地域創生 元気なまちは何が違うのか? 『できない』を『できる!』に変える実現力」
講師 東京農業大学教授・日本地域創生学会会長 木村俊昭氏
協働のまちづくりアカデミー受講生による活動実践発表ほか

■ 問い合わせ＝本庁地域づくり推進課市民活動係（江刺総合支所・内線321）

ラグビーワールドカップ 2019™ 観戦チケットが発売になります!

岩手・釜石会場の2試合を観戦できるチケット「スタジアムバック（オリジナルネックストラップ付き）」や、通常チケットの県民先行発売の詳細が発表されました。

一生に一度となるかもしれないこの機会にチケットを手に入れ、ラグビー世界王者を決定する大会を観戦しながら、県民一丸となって大会を盛り上げましょう!

スタジアムバック（釜石会場で開催される2試合を観戦できます）
一般抽選販売申込期間 1月27日(日)から2月12日(日)まで

通常チケット県民先行抽選販売
申込期間 3月19日(日)から4月12日(日)まで

▶ チケット購入にはID登録が必要です。今すぐ公式サイトでチケットID登録をしよう!

tickets.rugbyworldcup.com

ラグビーワールドカップ チケット

検索



▶ ID登録のサポートなど、チケット購入についての相談窓口を開設しています。

県ラグビーワールドカップ2019推進課 ☎ 019-629-6799

釜石市ラグビーワールドカップ2019推進室 ☎ 0193-8420



Q 地元選手の育成についてどのようにしていくのか。一般の人の楽しみ方といった啓発についてどのように考えているか。

A まずはカヌーに親しむことが大事ということ。カヌー愛好会やダムフェスでのカヌー体験などを実施しています。今後のカヌー競技者の育成について、競技者を地域おこし協力隊として雇用し現地で活動してもらうことも検討しています。啓発については、広報で周知を図っていますが、国体時のようにパンフレット形式で大会の前や大会の際にルールや楽しみ



Q 地域の課題について、地域の人がさまざまな意見を自由におおらかに話し合いができることが望ましい。一番大切なのは、市民と行政が協働で取り組むこと。

A 30の地区振興会の活動会議を通じてお互いに認め、共通理解を深めるということ。まずは大切にしなければなりません。また、各地域会議で自主的にやってみようということがあるれば、市でも支援してまいります。

テーマ （仮称）地域会議について

Q カヌー振興について、奥州湖交流館の積極的な活用を検討してほしい。

A カヌー競技場周辺でオリンピック事前合宿地や大学カヌー部の合宿地などの話もあり、さまざまな角度から検討してまいります。

Q 2層式の構成となっているが、各地域会議からの意見はできるだけ市政に反映させられるような仕組みにしてほしい。

A 聞くだけにならないようできるだけ事業に反映していきます。道路要望などは「市長と地域を語る会」もありますが、さまざまな意見を寄せてください。



Q 「奥州地域会議」「各地域会議」の違いが不明確。議会との兼ね合いはどうなっているのか。

A 全体枠と地域枠の2つの異なるものを設置します。30の地区と連携するための「奥州地域会議」は、地域それぞれの考え方を市が知るため設けるものです。地域の意見を踏まえて市議会へ伝える流れを組み立てる目的もあります。

Q 地区センターの役割が大きくなっており、この会議が活性化されるよう雰囲気づくりを行ってほしい。市でも地域の思いを受け入れてほしい。

A 地域からの声を聴き、必要とされる部分については市も支援します。事業の展開では、協働の提案テーブルも整えています。地域が前へ進むための手伝いをするとともに、広く皆さんに理解

Q 各地域会議に一定の予算をつけてもらえないか。そうすれば特定課題に対し、即実行できる。

A 議会とも議論となった項目。各地域会議に予算をつけることにより、事業の選定など役員にかえて苦勞をかける部分もあると思います。従って、地域会議への予算化は行わない案となっていますが、事業化を目指す案件は、「協働の提案テーブル」事業を活用していただきたいです。

Q 地域会議について、構成員の男女比に偏りが出ると思う。せめて10年後には男女比が6対4になるようにできないか。地域の課題は男性だけで決めることではなく、女性がこの会議に参加できるのが当たり前と思えるよう環境づくりも頑張ってもらいたい。

A 地域会議に限らず、男女共同参画については、実現がなかなか難しく、市内でもまだまだ遅れている雰囲気があると感じます。意識の壁も強いので、一つ一つ現状を変えていかなければなりません。できることから一つずつ、目標を示して仕組みづくりを考えてまいります。

されるよう努力してまいります。

